

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 15040010

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B		
単位施策	3	消防・救急体制の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	予防対策資器材整備事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	15 消防支署		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	予防資器材整備数		関係課	#N/A		
事業目標	2資器材		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	有 消防法、労働安全衛生法		
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	・予防対策資器材整備		・消火器更新			・火災調査及び現場活動用ガス検知器
	事業費(千円)	816	0	656	0	160
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	816	656			160
実 績 事 業 費	事業費(千円)	609	0	457	0	152
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	609	457			152
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		(実施内容等) ・消防保有消火器更新 ・施設用～12本 ・車両用～17本	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) ・火災調査及び現場活動用ガス 検知器更新
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				1資器材
		年度達成率	#DIV/0!	70%	#DIV/0!	95%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	0%	56%	56%	75%
		備考欄				

事業名	予防対策資器材整備事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	安本 明志美
		評価者 作成者 職氏名	予防係長	高宮 幸広

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	部品供給終了に伴う、ガス検知器の更新	
【抱える課題やニーズは】	部品供給終了により、保有ガス検知器の継続使用が不可能となる	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ガス検知器の使用を可能にする	① ガス検知器更新	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	出勤現場での出勤隊員及び町民の安全を守る		目標値	1 資器材
			実績値	1 資器材
			達成度	100.0 %
		②	目標年度	平成29年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	ガス検知器機種選定	組合内及び全道の消防で使用されている機種を調べ、使用方法を考慮し機種選定を行う		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	部品供給終了により、新たにガス検知器を更新し、出勤及び火災調査に備える必要がある
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	ガス検知器を更新し、出勤及び火災調査に備えることができた
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	災害現場での有毒ガスによる事故を防ぎ、出勤隊員及び町民の安全を守ることができる
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	火災調査及び現場活動用ガス検知器の更新は、出勤隊員及び町民の安全を守るための事業であることから公平である
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
ガス検知器を更新し、出勤に備えることができたことは、目標が達成されたと考え評価できる		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
この事業は、町民の防火意識の向上を図るために、今後、啓蒙資器材や訓練資器材(町民が使える)を整備していく必要がある		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止